

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和7年2月27日 発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)				
	5 週		6 週		7 週		8 週	警報レベル	注意レベル
	1月27日 ~ 2月2日	2月3日 ~ 2月9日	2月10日 ~ 2月16日	2月17日 ~ 2月23日	開始基準値	収束基準値	基準値		
インフルエンザ#	15	26	29	22	30	10	10		
	5.00	8.67	9.67	7.33					
新型コロナウイルス感染症#	17	11	15	17	-	-	-		
	5.67	3.67	5.00	5.67					
RSウイルス感染症	0	0	0	1	-	-	-		
咽頭結膜熱	0	0	0	0	3	1	-		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	0	0	1	8	4	-		
感染性胃腸炎	5	8	10	6	20	12	-		
水痘	0	0	0	0	2	1	1		
手足口病	1	0	0	0	5	2	-		
伝染性紅斑	0	0	0	1	2	1	-		
突発性発しん	0	0	0	1	-	-	-		
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	6	2	-		
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3		
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-		
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-		
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-		
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-		
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-		
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-		
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-		
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	0	-	-	-		
川崎病	0	0	0	0	-	-	-		
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-		

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況)

◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	-	◎	○
備考		感染性胃腸炎 新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス感染症

*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 栗原支所より

【定点把握対象疾患】

- ・インフルエンザの発生は継続しています。
- ・新型コロナウイルス感染症の発生も継続中です。
- ・感染性胃腸炎の発生が継続しています。
- ・RSウイルス感染症、A群溶血性連鎖球菌咽頭炎、伝染性紅斑、突発性発疹の発生が見られます。

【集団発生情報】

高齢者施設において新型コロナウイルス感染症の集団発生がありました。感染対策に努めましょう。

【感染症コラム～風疹～】

- ・発熱、発疹、リンパ節腫脹が特徴のウイルス性発疹症です。
- ・麻疹と異なり、症状が出ない不顕性感染が一定数(15～30%)存在します。
- ・基本的には予後良好な疾患ですが、血小板減少性紫斑病などの合併症をきたすことがあります。
- ・予防にはワクチンが有効で、1歳と小学校入学前1年間の幼児(6歳になる年度)の2回接種します。
- ・風疹に感受性のある妊娠20週頃までの妊婦が風疹ウイルスに感染すると胎内感染がおこり、出生児が先天性風疹症候群を発症する可能性があります。母が無症状であっても、先天性風疹症候群が発生します。
- ・先天性風疹症候群では白内障、先天性心疾患、難聴の3大症状以外に、網膜症、肝脾腫、血小板減少、糖尿病、発育遅滞、精神発達遅滞、小眼球が報告されています。
- ・風疹の地域流行がおこると、それにやや遅れて先天性風疹症候群の発生が増えます。予防には男女ともにワクチンを受けて、まず風疹の流行を抑制し、女性は感染予防に必要な免疫を妊娠前に獲得しておくことが重要です。

保健所では感染対策に関する出前講座、手洗いチェッカーの貸出を行っています。御希望の施設の方は下記担当あて御連絡下さい。



感染症情報 ←



性感染症検査 ←

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 ☎0228-22-7594
HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>